

## 令和7年度 文化キャラバン（伝統文化分野）登録団体

No.	団体名	公演内容	体験プログラム内容	人数	開催日			団体PR
					平日	土	日祝	
1	大分県三曲協会	<p>【20分】</p> <p>○箏・三絃・尺八による演奏            ①古典（六段の調）            ②代表的な曲（春の海）            ③良く知っている曲（さくら、アニメソング等）            ④校歌</p> <p>○楽器の説明            箏・三絃・尺八</p>	<p>【60分】</p> <p>全体を三つのグループに分け、順番に20分ずつ三か所を回りながら体験する。</p> <p>○箏            ・箏爪をつけて実際に音を出す。            ・5~6面の箏を用意し、順番に使用する。            ・「さくら」を弾いてみよう。</p> <p>○尺八            ・音の出る仕組みを理解する。            ・実際に音を出してみる。            ・一人一本尺八を用意し、生徒5~6人に講師が一人ずつついて補助する。</p> <p>○三絃            ・音の出し方、楽器の構造の説明を聞く。</p>	7~10	○	○	○	昭和28年設立。大分県内の箏・尺八の職格者（師範）で構成。昭和34年から毎年定期演奏会を開催し県民芸術文化祭にも毎年参加。昭和50年大分県芸術祭、平成7年に大分県民芸術文化祭の開幕行事、平成2年及び22年に閉幕行事を担当した。近年は、学校での公演、ワークショップに精力的に取り組み、邦楽の継承、普及の方策を模索している。
2	大分県民謡連盟	<p>①大分県の民謡をはじめ、全国各地の民謡コンサート。（三味線、尺八、太鼓、鈴、唄等による民謡の演奏）            ②講演会、講習会            *公演時間、内容等希望に応じて企画可能。</p>	唄、三味線、尺八、太鼓、鈴等打楽器の体験の他現地地域の民謡を紹介し、一緒に学びます	20~30	○	○	○	県内で活動している民謡団体13団体で組織する団体。大分県民謡の研究、民謡の祭典の開催、大分県民謡大賞。国民文化祭への参加、教育委員会の事業で県内の小中学校で公演（伝統芸能ふれあい教室等）を行ったりしている。
邦樂	大分県現代箏曲研究会	<p>①お箏の演奏            ②洋楽器とのコラボレーションセッション            ③和楽器に関する小講演+楽器演奏で講演・公演            ④箏演奏付き「古事記」「大分県民謡」等の朗読</p>	お箏を中心とした和楽器体験 (お箏以外の楽器は日時などによります)	2~10	○	○	○	1972年に「邦楽育成会」の卒業生を中心に、創立された。初代代表の菊池紅秀より引き継ぎ、現在は仙波歌月（生田流筑紫会大師範）が代表を務めている。この会の目的は「新しい現代音楽を創り奏でる」ことにあり、これまでの「シャン、テン、トン～」といったお箏の音色だけでなく、洋楽器や朗読、書道家などのコラボレーションを積極的に行っている。
4	大分県長唄連盟	<p>日本の伝統芸能である歌舞伎音楽代表「長唄・三味線」。            曲の解説、三味線に直接触れる体験コーナー、又、洋楽器とのコラボや、APU立命館アジア太平洋大学長唄・三味線部の国際生とのワークショップや演奏会も行う。</p>	決定後に要相談	10~15	○	○	○	1960年（昭和35年）4月1日設立。現会長 杵屋六絹也（櫻井絹代）のもと会員一同にて大分県下のあらゆる会場において演奏活動を行う。近年は、大分県民芸術文化祭・文化キャラバン・国民文化祭・東アジア文化都市2022大分県・大分市芸能まわり舞台・合同新聞社等の主催する舞台出演に参加。又、各社中ののみのお渡い会で日ごろの練習成果の発表会なども行っている。
5	長唄松樹會	<p>○長唄（唄と三味線）の演奏            ・文部科学省認定の「伝統長唄保存会」会員の芳村孝次女を中心に古典の曲を演奏            ・ご要望に応じ近代音楽・童謡・ポップスなども演奏可能            ・洋楽器とのコラボも可能</p> <p>○三味線や唄の体験学習</p> <p>○長唄（唄と三味線）の歴史、楽器の伝来や構造についてのお話し</p>	1. 長唄（唄と三味線）の歴史と三味線の説明を分かりやすく行う。 *三味線を分解する実演 2. 長唄「越後獅子」の鑑賞 *長唄は歌舞伎や日本舞踊の伴奏音楽として発展してきたので、日本舞踊の先生にも踊って頂く。 3. 体験コーナー *三味線を構えて、糸に撥（ぱち）をあてる。 *「さくら」の初めの部分を弾いてみる。 ※最終的には「さくら」を舞台で演奏できること	2~20	○	○	○	長唄松樹會は公に発足して来年で80周年を迎える。現会主芳村孝次女（松永派理事）は、文部科学省より「重要無形文化財長唄総合認定保持者」を、昨年は、三味線方としての演奏・継承活動に対して大分県より「功労者表彰」を賜る。「東京都キッズ伝統芸能体験」の主任講師を務めた経験を生かし、長唄松樹會として、小・中・支援学校や高齢者施設の「文化キャラバン」「大分県民芸術文化祭開幕行事」「国民文化祭・おおいた2018」等に出演。「ラグビーWカップ2019大分ステージイベント」「人工生命とロボット国際学会（別府）」「企業開業120周年記念祝賀会」で演奏し「東アジア文化都市2022大分県」「大分県民芸術文化祭」等で公演を行う。

## 令和7年度 文化キャラバン（伝統文化分野）登録団体

	No.	団体名	公演内容	体験プログラム内容	人数	開催日			団体PR
						平日	土	日祝	
舞踊	6	大分県日本舞踊連盟	日本の古典芸能である日本舞踊に触れる。 鑑賞、おはなし、ワークショップなど。	決定後に要相談	15~20	○	○	○	県内の日本舞踊の師範で構成。連盟として、県、市の教育委員会の事業に協力。子供達をはじめ、幅広い年代の方に日本の伝統文化を伝える活動に力を入れている。
能	7	大分県能楽連盟・能を楽しむ会	能楽とは「全ての人間の本性を描く芸術」神、男女、狂、鬼を700年演じ続けられ、世阿弥の芸術論「花伝書」は世界的に評価され、私達の生きていく指針を教えていた。花の成長にたとえ、生徒は大変興味を持っている。実演鑑賞、複式発声、体幹スリ足、クモの巣の妙技、能装束着付、日本史のヒーローたちの能面を身につけ驚異に満ちている。	○腹式呼吸により想像できない大きな声が出て、体中に酸素を入れ始めての体験。 ○体感のスリ足は頭に本をのせても歩行が美しく出来る。能面をつけると見えなくとも安定に美しい姿勢の歩行に驚く。 ○日本のヒーローの能面をつけ先に大興味を持つ。 ○シンプルな型で深い意味を知る。	8	○	○	○	世界文化遺産第1に選ばれ、日本が誇る舞台仮面劇である。その活動は県文化功労賞、文化庁無形文化財認定、旭日双光章の叙勲と80年間懸命に務めた。大分県には日本三大能楽堂といわれる舞台は宝であり、活動は各カルチャー教室、小中高、芸短大（講師）、一般と広くに啓蒙、毎年人間国宝、東京の一流演者を招き、レベルの高い舞台を80年間活動、紹介している。子供教室は20年間、小中高毎年350人育成し、第1期生は宇宙科学者や医学や指導者になって頼もしい。日本の歴史の人物像を能面で身近に。学校歌を能楽譜で複式で謡う。
文芸	8	大分県番傘川柳連合会	川柳の作り方、味わい方などに関する講演会	決定後に要相談	20	○	○	○	「番傘川柳本社」同人、約30名が講師を務めることができる。
生活文化	9	一般社団法人表千家同門会大分県支部	講話 ・茶道の歴史 （茶の伝来、茶道の成立、今日受け継がれている茶の心） ・抹茶ができるまでの話 ・季節や歳時の話 ・茶道の心得、主客の心得  実技 ・基本動作の実習（歩き方、座り方、おじぎの仕方） ・菓子のいただき方、茶のいただき方、拌見の仕方  体験教室 ・割稽古（服紗のさばき、茶巾のたたみ方など） ・盆を使った薄茶点前（茶を点てる、茶をさし上げる）	決定後に要相談	20~30	○	○	○	千利休の道統を伝える三千家（表千家・裏千家・武者小路千家）の本家として450年余にわたり、わび茶の古格を伝えて来ました。 茶道文化の伝承に努め、茶道精神を追求しつつ時代に即したあり方を常に模索し、現代に生きづく日本文化の継承を目指しています。
	10	華道家元池坊大分支部	・伝統文化である「いけばな」の歴史や文化についての講演・デモンストレーション。 ・体験教室	決定後に要相談	2~5	○	○	○	70名の教授者。華道家元池坊の華道会所属。支部創立以来（95年間）花展開催や、家庭でのもてなしの花を広めている。時代に添った生活空間に花を置き、癒される優しい空間づくりをめざしている。
美術	11	NPO法人 大分県書写書道指導者連合会	児童生徒を対象に、書写の基礎・基本を指導するとともに、作品制作の支援を行う。	決定後に要相談	3~5	○	×	×	書写書道教育の向上発展に寄与することが目的 全国小中学生書道チャンピオン大会開催 夏休み子どもたちのための毛筆書写講習会を実施（県内6会場） 平成28年度文部科学大臣表彰（地域文化功労者）